

第3回運転責任者運営委員会 議事要旨

1 日 時 平成20年 5月15日 (木)
14時00分 ～ 17時30分

2 場 所 日本原子力技術協会 特別会議室

3 議 題

- (1) 代理出席者の承認
- (2) 会議定足数の確認、議事次第と配布資料の確認
- (3) 前回議事録の確認
- (4) 委員会規約について
- (5) シミュレータ訓練施設の認定について
- (6) 運転責任者試験問題委員会の見直しについて
- (7) 口答試験及び講習の外部委託について
- (8) 判定プロセスに係る公表の考え方について
- (9) 原子力発電所運転責任者に係る合否判定等業務に関する規程
- (10) 独立性、公平性及び公正性の定義について
- (11) 運転責任者判定業務の準備状況について
- (12) 品質マニュアルの内容について

4 出席者：(敬称略、順不同)

(委員) 北村委員長、伊東委員、志田委員、大須賀委員、島津委員、月川委員
(原技協) 成瀬理事
(事務局) 阿部、浦野、

5. 議 事

(1) 会議定足数の確認

会議定足数(委員の3分の2以上の出席)を満足しており、委員会が成立することを確認した。

(2) 前回議事録の確認

前回議事録が、了承された。

(3) 委員会規約について

事務局より規約の改訂案を説明し、一部表現を修正することで承認された。

(4) シミュレータ訓練施設の認定について

事務局よりシミュレータ訓練施設認定の応募があったBTC、NTCについて審査を実施し、両社とも要求事項を満足していることからシミュレータ訓練施設として認定する旨の報告がされた。

【主な意見】

- ①どの規程により審査を行ったのかトレーサビリティを明確に記載するべきであるとの意見があり、原技協の該当する手順書名を追加することとした。
ホームページに公表する期間に関する質問があり、確認して通知することとした。
なお、文書の保存期間は原則として5年間としていることを説明した。

(5) 運転責任者試験問題委員会の見直しについて

試験問題委員会の役割の一部変更案について、事務局より説明した。

【主な変更案】

作業量及び作業頻度の観点から試験問題（案）のレビューは試験問題作成WGで実施する。

機密保持の観点から試験問題の選択は原技協に移管する。

【主な意見】

- 筆記試験問題数は多いため、予め試験問題を全て公開し事前に勉強してもらってもよい。
- ②試験の位置付けは選抜試験ではなく、資格試験である。
アメリカの原子力発電所運転員に係る資格試験では試験問題の10%以上を新規、15%程度は過去問の改定問題、残りは過去問題を使用しており、試験終了後は試験問題を公開している。
- ④作成した試験問題に出題分野や難易度で偏りが出ているかとの質問があり、出題分野については体系的に整理しているが、難易度については現在設けていないため今後運用状況を踏まえ検討を行うこととした。
試験問題レビューには現場経験者だけではなく、設計経験者等の違う視点から試験問題を作成できるような体制が望ましい。当直実務に必要な知識・技術からの立場だけではなく、一段上の立場から当直長に求める問題を作成すべき。

(6) 口答試験および講習の外部委託について

委託項目の基本的な考え方について事務局より説明した。

【主な確認内容】

試験委員・講師との取り合いは受託者、受験者・受講者との取り合いは原技協とすることが確認された。

②委託先と調整を行いながら進め、8～9月頃の委託契約を目指す。

【主な意見】

①講習及び口答試験実施の委託に関し、協会の品質保証計画書に沿ったプロセスの管理方法について運営委員会に提案のこと。

(7) 判定プロセスに係る公表の考え方について

判定プロセスに係る公表の考え方の前回からの変更案について、事務局より説明した。

【主な変更案】

①審議概要や委員会に係る規約等は、「原則は公開」とする。

【主な意見】

①独立性議論の観点から、運転責任者判定機関は専門的な人材でないと務まらない。そのため、原子力とは全く無関係の組織を判定機関とすることは現実的ではない。公平、公正は同じ意味で使われていることが多く、はっきりと定義されていないことが多い。予め定義して同じ認識を持つことが大切

(8) 原子力発電所運転責任者に係る合否判定等業務に関する規程

第2回委員会の審議事項を踏まえ規程を制定したと前回案からの変更点を事務局より説明し、委員会の確認を受けた。

【主な意見】

①異議申し立て・苦情とまでは行かないが、意見があった場合、どのような方法で意見集約を行うのかとの質問があり、試験実施後のアンケートまでは考えていないが、発電所訪問による収集や連絡会の活用を考えている旨説明した。

(9) 運転責任者判定業務の準備状況について

準備状況について事務局より説明を行い、原技協の運責判定に係るマネジメントシステムが、JEAC4804の要求事項に適合していることを次回運営委員会で確認後、公表することとした。

【主な意見】

①試験問題関係のセキュリティに関する質問があり、限定された要員しかアクセスできないことを説明した。

本件に関し、アメリカで試験問題の印刷物が第三者の目に触れ、機密漏えいとして問題となった事例があることが委員より紹介された。

③試験問題バンクは公開とし、原技協が試験に使用する問題に対しての情報漏えいに気をつければよい。

(10) 品質保証計画書について (説明)

品質保証計画書の改訂部分について、事務局より説明した。

(11) その他

次回委員会は平成20年9月開催とし、7月頃に日程調整を行うこととした。

以 上